

## 11月のデキゴト

11月28日(日)開催 「親子で学ぼう地球温暖化」

地球の温暖化が進んでいることは、多くの方が最近の気候変動から感じていると思います。環境学館いずみの講座でも、令和元年からこのテーマを取り上げており、今回は、親子で一緒になって考えました。

まず、身近なこととして、坂戸市の気温の変化と、温暖化の影響と考えられる一昨年10月の台風がもたらした大雨について、また、温暖化の原因が主に二酸化炭素の増加にあり、このままでは、今までのような平穏な生活が続けられなくなることなどの説明がありました。世界の平均気温が100年で0.8℃上昇しているのに比べ、坂戸市では最近の40年間で2℃も上昇していると知って驚きました。

続いて、温暖化を抑える為の環境学館いずみの取組みの事例として、自然エネルギーである太陽光を利用した発電と二酸化炭素の排出が少ない電気自動車を見学しました。

また、屋外の気温を計測したり、LED電球やソーラーカーなどを実際に見たり触ったりすることで、身近に自分事として感じることができました。

さらに、森林が温暖化を防ぐために役立っていることを環境学館いずみのシンボルツリーでもある太古の木「メタセコイア」を、例に説明を受けました。木はもうすっかり薄茶色に紅葉していました。

最後に、私たち一人一人にできることとして、「夏の日除けに植物を植える」「使っていない照明はこまめに消したり、誰も見ていない時はテレビを消す」「近くなら徒歩・自転車で行って、自家用車はできるだけ控える」等の事例を紹介し、講座に参加した皆さんに、自分が今日から取り組む具体的な対策を発表してもらいました。中でも、「罪のない子供たちに僕たち世代が積み重ねてきたことを背負わせてしまうことを思うと何かできることをやっていきたい」と話していたお父さんのことが印象に残りました。

私も身近なことにしっかりと取り組んでいきたいと思います。



講座風景①



講座風景②